

2.6.2 孔底からグラウトする場合の留意事項

- 1 アンカー孔掘削，孔内洗浄
- 2 ケーシング挿入状態で，孔底よりグラウトホースを用いて注入（グラウトホースが先端に達していることを必ず確認する）
- 3 テンドン挿入
- 4 アンカー体埋設区間までケーシングを引抜き，グラウト圧入
- 5 ケーシング引抜き，養生

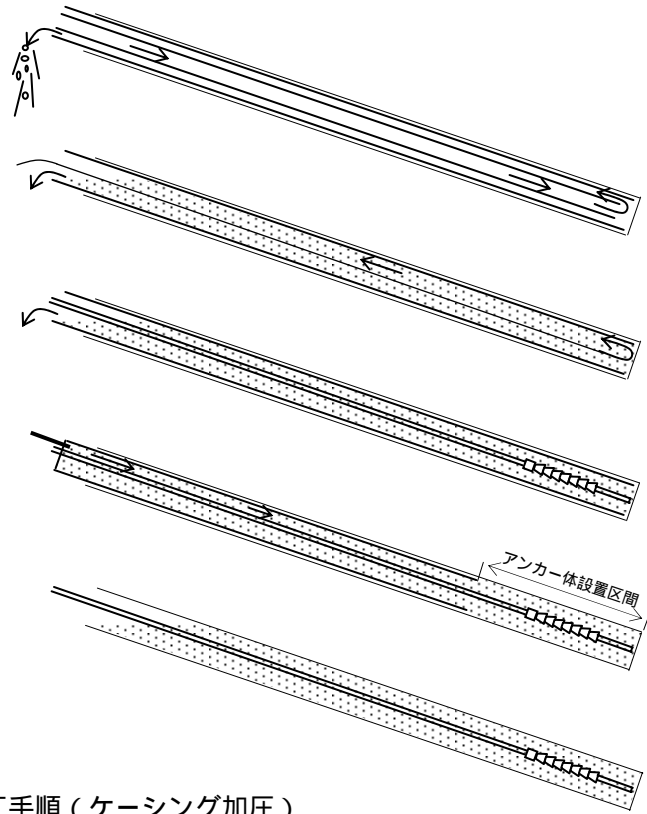


図 6.2.1 施工手順（ケーシング加圧）

（注意事項）

作業手順 2 において，図 6.2.2 のように孔内水がある状態で孔底に達しない位置からグラウトした場合，写真のようなブリージングをもたらす可能性がある。

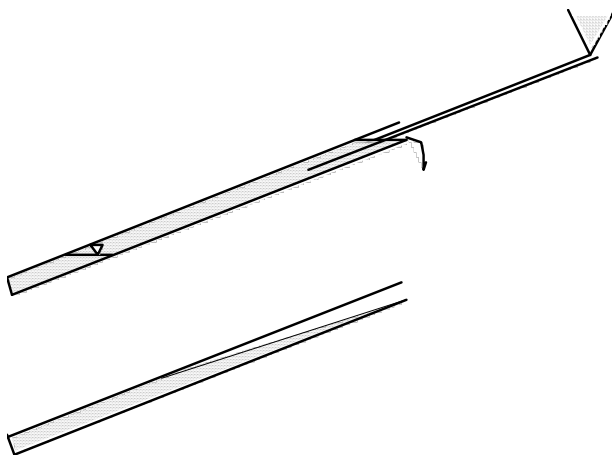


図 6.2.2 グラウト実験
（上：グラウト直後，下：養生後）



写真 1 ブリージング状況